

ま ち の 話 題

豊岡

豊岡高等学校周辺道路の除雪

若いパワーと熱気には
雪もかかないません



▲重たい雪もなんのその。元気いっぱい除雪作業

1月26日、豊岡高等学校陸上競技部2年生15人が、授業終了後、学校東側の三坂区道路を除雪しました。1月13日の同校野球部による小尾崎区の除雪に続いて、普段お世話になっている周辺地域への恩返しのために行われました。

当日は、雪は降っていませんでしたが、連日の厳しい寒さで、路肩の雪はガチガチ。生徒たちは、雪の塊を木づちで砕くことから始め、スコップからスノーダンプ、水路へと、チームプレーで、雪はどんどん消えていきました。

地域の皆さん、今後も、元気にランニングする生徒たちを温かく見守ってください。

城崎

カニ雑炊・たる酒サービス

熱々のカニ雑炊に舌鼓!!

1月25日、毎年恒例のカニ雑炊とたる酒の振る舞いが、JR城崎温泉駅前で行われました。この催しは、城崎温泉観光協会が約30年前から続けているカニ王国(城崎)の名物行事。城崎温泉調理師会会員らが、たくさんのカニ身と特製だしで作った約800人前の雑炊と日本酒1斗を用意し、観光客らに振る舞い、駅周辺には雑炊の白い湯気と、たる酒の甘い香りが漂っていました。

友人2人と旅行で訪れた伊地知里佳子さん(京都市)は「イベントのことは何も知らずに来ました。ラッキーです」と、温かいもてなしに顔をほころべていました。



▲熱々のカニ雑炊とたる酒を求めて、長い行列ができた駅前

竹野

ミックス広場

地域のみんなで交流
顔見知りを増やそう

2月5日、子育て中の親子が地域のひとたちとふれあう「ミックス広場」を竹野地区公民館で開催し、約80人が参加しました。

参加者は、グループに分かれて自己紹介をした後、大きな輪になり、大人が6〜8メートルの大きな風呂敷を持ち、子どもたちはその下に入って、走り回ったり、しゃがんだりして大はしゃぎ。ゲームの途中では、いずみ会や婦人会の皆さんが作った3種類の蒸しパンを、みんなで楽しく食べました。

最後には、恒例の竹野町小唄をみんなで踊り、笑顔で「また市内で見掛けたときは声を掛けてね」と約束し合いました。



▲大きな風呂敷の下で大はしゃぎの子どもたち

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報広聴係まで連絡ください。

日高

和紙人形でおひなさま作り

かわいいおひなさまが
できました

2月10日、和紙人形でおひなさま作りを日高地区公民館(日高町国分寺)で開催し、22人が参加しました。

講師に赤江チエ子さん(養父市)を迎え、短冊に2体の和紙人形を貼り、おひなさまを完成させました。一見、簡単そうに見えますが、和紙をはさみで切るなど、手先の細かい作業もあり、みんなで作品を見比べ、ワイワイ、ガヤガヤと楽しみながら、それぞれ作り上げました。

完成後は、おひなさまを見ながらお茶を飲み、「かわいいのができたなあ」と口々に喜び、和やかな雰囲気でした。



▲短冊に2体の和紙人形を貼ったおひなさまが完成して、喜ぶ参加者たち

出石

出石弁講座

「おいでんしゃあ」
これ何弁?



▲笑いを誘う懐かしい出石弁も飛び出し、会場は大いに盛り上がった

1月26日、出石弁講座(出石皿そば協同組合主催)が出石永楽館(出石町柳)で開催され、同組合員約40人が参加しました。この講座は、地域資源である方言の魅力を再認識し、出石の魅力向上につなげようと開催されました。当日は、同組合員で地元劇団の代表を務める中嶋勝己さん(出石町八木)を講師に迎え、出石皿そば店の店員らが「まあ、ようけこと食べてくれんさって、おおきに、あんたあ」などと出石弁を交えて接客実習に挑戦しました。最後は、「使いたい出石の言葉」に「おいでんしゃあ」が選ばれ、同組合員らは「出石弁」の良さを再認識していました。

但東

但馬天満宮学業成就・合格祈願祭

五角(合格)の門くぐりで
合格祈願!

2月1日、学問の神様で知られる但東町奥矢根の但馬天満宮で学業成就・合格祈願祭が行われました。受験シーズン本番とあって、但馬地域だけでなく市外からも受験生や家族連れが多数訪れ、にぎわいました。

受験生などが、境内に設置されたジャンボ絵馬に「志望校絶対合格!」などと願いを書いたり、くぐると合格すると言われて、「五角(合格)の門」をくぐり抜けたりして、合格を祈願していました。但東中学校3年の金久彩奈さんは「五角の門をくぐったので、自信がついた。志望の高校に合格したいです」と話していました。



▲くぐると合格するという「五角(合格)の門」をくぐり抜ける受験生